

課題名	ビワの樹形改造法
成果の要約	<p>1 段盃状形へ改造した結果，1年生枝数が少なく，収量は標準区の約半分となった。また，果実障害が多くなったが，新聞紙袋の使用で減少した。</p>
成績概要	<p>樹高の高い木を低くするような樹形改造法と，その維持法を検討中である。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 収量は樹形改造区が少なく標準区の約半分である。 (2) 果実の大きさ，および品位について樹形による差はなかった。 (3) 樹形改造区は1年生枝数および着房枝数が標準区より少なかった。 (4) 樹形改造区は，へそ黒症，そばかす症，黒点症，日焼け，はちまき，がんしゅ病果の発生が標準区より多く，へそ青症は少なかった。 (5) 樹形改造区では，樹冠の上部で，へそ黒症，たてぼや症，そばかす症の発生が多く，新聞紙袋区では，へそ黒症，たてぼや症の発生は少なかった。 (6) 樹形改造樹での障害果の発生は，新聞紙袋の使用によって少なくなりそうである。

第1表 収量および果実の品位

処 理	果数	重量 kg	1果平 均量 g	階級別個数割合(%)					品位別個数割合(%)			収量の ¹⁾ 伸び率 %
				2L	L	M	S	格下	秀	優	格外	
樹形改造区	122	4.3	35	1	25	49	17	8	62	29	9	26
標準区	158	5.9	38	1	31	48	13	8	64	27	9	26

1) 収量の伸び率……昭和46年～昭和50年の5カ年間の平均収量を100として

第2表 収量の年次変化

(kg)

処 理	51	52	53	54	55	56年	平均
樹形改造区	30	7	15	30	26	4	19
標準区	52	11	28	69	49	6	36

第3表 1年生枝数と着房状況

処 理	1年生枝数	着房枝数	着房率
樹形改造区	884	689	78%
標準区	1,460	1,266	87

第4表 着果位置別袋の種類と果実障害の発生割合(改造樹)

(%)

処 理	袋の種類	へそ	そば	へそ	黒点症	日焼け	はち	たて	がんしゅ
		黒症	かす症	青症			まき	ほや症	
樹冠	クラフト袋	23.6	20.1	25.3	1.7	0.9	3.7	18.6	4.1
上部	新聞紙袋	0.8	17.7	9.9	1.2	1.2	6.2	5.3	2.1
樹冠	クラフト袋	3.2	12.1	11.3	0.8	0.8	3.2	4.0	4.0
下部	新聞紙袋	1.8	11.0	8.0	0.6	1.8	1.2	3.7	3.1